本谷市長と市内移住者との座談会

吉山ダムの一番近くの根森田という 【織山】 主人と娘2人と一緒に、森<mark>☆震災後に考え方が一変して</mark>

大穂 耕一郎 さん

あいつに会いたいなと思われるよう ています。 ふる里の人間になりたいと思っ

館で地域の人たちと一緒に、

集落に住んでいます。

と直売所を経営し、

☆内陸線の存続運動を機に

さんの知り合いができ、 11年ほど前、内陸線の取材で訪れた線の風景がとても気に入りました。 大穂】 でしまおうと移住しました。 ともたくさん出てきて、 う話を聞き、存続運動を遠くから通 きで大学時代にあちこち写真を撮り ましたが、 は秋田大学に入りました。 人事務所を設立し、 ながら始めました。それからたく このままだと廃止になるとい 高校まで東京にいて、 地域産物を広めるための 阿仁合線、今でいう内陸 内陸線グッズやしました。今は個 やりたいこ いっそ住ん 移住のきっかけは、東京で結婚、 むことが一番良いと思い移住しました。 の中での子育てなどを考え、ここに住 うようになり、



織山 友里 さん

☆地域の-人とふれ合える仕事に

職して10年ほど住んでいました。時に上京し、大学卒業後も東京で ことに興味を持ち、アートプロジェ クトのゼロダテのスタッフ募集が重 わったのをきっかけに、 で街の景観をデザインする仕事に携 に店舗や住宅の建築設計の仕事をし ていましたが、 大仙市協和出 ほど住んでいました。主、大学卒業後も東京で就仙市協和出身で、大学の 群馬県の伊香保温泉 地域と働く 大学



柳原まどかさん

も自分の専門である建築設計を生か から秋田で働くことにしました。今 り合う環境があるのではという期待 しながらゼロダテで働いています。

人らない自給自足に近い環境、

自然

お金を出しても手に

めていて、 図を目にし、仙台でもその地図を眺「阿仁合ぶらぶらマップ」という地 「阿仁合ぶらぶらマップ」という地しました。仕事で森吉山に来た時にそのあと仙台でカメラマンの仕事を り、実際に阿仁に来て移住を決心し 京でテレビ番組の映像製作の仕事、 【長谷川】 ました。阿仁の町は、今まで見てき ☆阿仁には他の町にない魅力が たどの町にもない魅力を持って もう一度行ってみたくな 山形の大学を卒業し、



市の臨時職員をして、10月から阿仁事も家も何の当てもないまま移り、 思いました。 の工場に勤務しています。 純粋に阿仁の記録映像を撮りたいと ☆安全に子育てできる場所を求め 仙台の仕事を辞め、 仕



織田 直樹 さん

たが、荒瀬に知り合いがいたことと、心配が少ないと教えてもらいました。いろいろと移住地を検討していました。で知人が実家のある荒瀬に戻ることで知人が実家のある荒瀬に戻ること 我が家が、 面でも力になり、今後の若者の刺激 少子高齢化の深刻な地域ということ ました。これからは、 てればという思いから移住を決断し も聞いていましたので、 られるか悩んでいました。 色々と心配で子供たちを無事に育て 事故により放射線量が高くなり、 以前住んでいた所が 少しでも何かのお役に立 子供が多 同じ理由 原発

《司会進行》

河田浩文

織山友里さん【出身地 和歌山県】 平成23年に東京都から転入

北秋田市は、

152・5平方キ

・トルと、

県内で2番目、

全国

大穂 耕一郎 さん【出身地 東京都】 平成23年に東京都から転入

域活性化のために

津谷市長と市内移住者との座談会

<mark>楢岡 美克子 さん</mark>【出身地 北秋田市】 平成13年に東京都から転入 東京から1時間で来られる大館能代 する様々な観光資源があり、新幹線 が停車する角館駅につながる内陸線、 れは沖縄本島に匹敵する広さです。 でも18番目の面積を有しており、

北秋田市には、

森吉山をはじめと



津谷 永光 市長 に参画していただきたい

秋 田市に住も

に思っていることを教えていただき、

一緒になって北秋田市の未来づくり

思ったき はじめに、 0 か け

紹介と北秋田市に住もうと思った【司会】 はじめに、皆さんから自己 きっかけをお願い します。

☆両親との暮らしを望んで

戻ってくることになりました。戻っことを望んでいたのですが、私があり、正直、東京に親が来てくれる 高校で地元を離れ、 に暮らしたいという気持ちがずっと 住みたいということよりも親と一緒 年に地元に帰ってきました。 の元に戻ってくると思います。 てくる人というのは、北秋田市とい に上京して、そのまま就職。 ここに住む者として、 う場所というよりも、 中学まで北秋田市におり 大学から東京都 たまに帰って そこにいる人 地 元 に 13

駅、

新春座談会

^{やなぎわら} **柳原 まどか** さん【出身地 大仙市】

長谷川 拓郎 さん 【出身地 湯沢市】

使いこなせていないのが現状です。

がら、そこに住む人たちが、うまく

統芸能、文化など様々な宝がありな

域は珍しい。

しかし、観光資源や伝

内陸部でこれほど整備されている地

高速道路の日沿道も延びており

空港、JRの特急が停車する鷹ノ巣

平成25年に東京都から転入

平成25年に宮城県から転入

平成26年に栃木県から転入

織田直樹さん【出身地

な支援や住居、

学校、

医療などの情

ここに住んでいただけるための様々

3月に定住促進基本方針を策定し、

だ なおき

又はひとり善がりの点があると思い

市外から来られた皆さん

行政で行っていても気づかない点、

報提供なども含め摸索していますが、

楢岡 美克子 さん

広報きたあきた 2015. 1. 1